

システム可視化

2008年3月更新

概要

24時間休みなく機能し続けるITシステムの運用管理は、システムの複雑化・大規模化が進む中で難しさを増してきています。

富士通研究所では、システムの動きを「正常な動作に比べ、どこでどの程度ずれているか」という観点から可視化し、運用管理者に提示するシステム分析・可視化技術を開発しています。実際に稼働中のシステムの分析・可視化を行い、障害箇所をピンポイントで特定したり、潜在障害のうちに発見することで、問題点の素早い把握と的確な対応が可能となります。

技術のポイント

・ネットワークから観測するだけで、システムの動作モデルを自動生成

ネットワークを流れるメッセージ群を高度なデータマイニング処理により分析し、対象システムの動作を自動的にモデル化します。システムに監視エージェントを導入したり、システム構成を手で打ち込んだりする必要がなく、手軽に導入できます。

・動作モデルに基づいたわかりやすい可視化

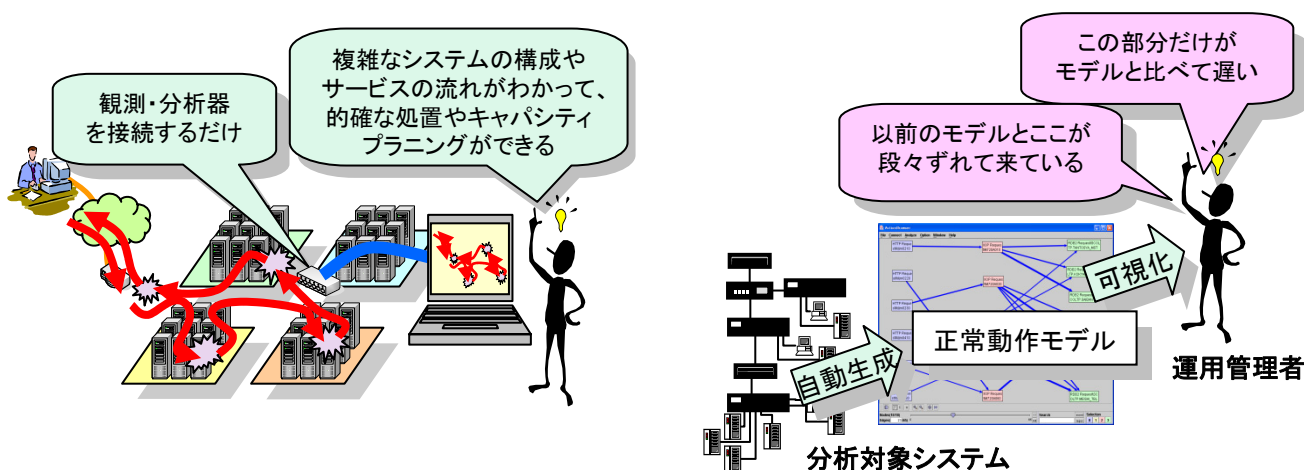
従来、システムの動作を可視化しようとする場合、CPU負荷率の変動をグラフで示すなど、処理されているサービスとは直接結びつかない単純なものしかありませんでした。本技術では、サービスの1件1件が多数のサーバの協調で処理されていく様子まで可視化します。これにより、サービスの処理のどの部分に問題があるのか、また、そのインパクトはどの程度なのかなどを判断し、的確な対応を行えます。

適用例

・大規模なITシステムの運用管理/プランニング

1件1件のサービスと対応付けてITシステムの動作を理解することで、システム・アップグレードの効果をビジネスへの貢献度の観点から評価するなど、「ビジネスに効く運用管理」を実現します。

2008年2月に、本技術を適用した「EVOLUO-TransactionEye」が商品化されました。



関連リンク

- ・【プレスリリース 2008年2月】 金融ソリューション体系「EVOLUO」ラインナップ強化 金融業務を可視化する3ソリューションを販売 ～先進技術を活用した可視化シリーズを追加～
<http://pr.fujitsu.com/jp/news/2008/02/20-1.html>
- ・金融ソリューションコンセプト システム可視化ソリューション EVOLUO-TransactionEye
<http://jp.fujitsu.com/solutions/financial/concept/>